

金蛇水神社外苑 SandoTerrace



南側広場から参道越しに境内を見る



駐車場と境内を繋ぐ円弧状の屋根



建物を貫通する参道

参拝者と神社を繋ぐ、地域に開かれた休憩所である。金蛇水神社は山あいの堤を水源とする沢が平野に流れ出す谷の出口に鎮座している。その沢と堤、それぞれが持つ、流れと溜まりの要素をこの建築に取り込もうと考えた。

円弧状の参道を敷地内に通し、参拝者の流れをつくり出した。その両側に休憩棟と牡丹棟を配し、人々が溜まる場を設けた。周辺の自然や光、風を建物内に取り込みつつ、参拝者が自ずと境内に足が向くよう、参道・休憩棟・牡丹棟を平面的にずらした。参道の上と下では2.2mのレベル差があるため、階段とスロープ、平場をもとの土地の勾配に擦り付けるように組み合わせた。

ふたつの切妻を組み合わせたひとつの大きな屋根で覆い、周辺の山並みになじむ高さに抑えつつ、参道・休憩棟・牡丹棟を一体的な空間として設えた。同形状の木トラスが通り芯ごとに少しずつ高さを上げながら、円弧状に一定のリズムで繰り返す。床レベルの変化とあいまって、歩を進めるごとに場面は切り替わり、参拝者は自然を感じながら境内へと導かれていく。

神社は祭事と日常とで使われ方が大きく変わる。お祭りの時は架構の下が賑わいを見せ、終われば静謐な参道に戻る。それは建築のような道でもあり、道のような建築でもある。

〔建物名称〕	金蛇水神社外苑 SandoTerrace	〔敷地面積〕	2,332.72㎡
〔所在地〕	宮城県岩沼市三色吉字水神11-1	〔建築面積〕	1,104.34㎡
〔主要用途〕	飲食店	〔延床面積〕	1,104.34㎡
〔発注者〕	金蛇水神社	休憩所	987.37㎡
〔設計監理〕		倉庫	26.97㎡
建築	齋藤和哉建築設計事務所 担当／齋藤和哉 高橋雅人	〔建蔽率〕	43.48%(許容_70%)
構造	yAt構造設計事務所 担当／中島敦広	〔容積率〕	43.48%(許容_200%)
設備	E.I.S設備計画 担当／高橋和弘 小野寺彰	〔階数〕	地上1階
照明	岡安泉照明設計事務所 担当／岡安泉	〔最高高さ〕	7,370mm
サイン	BLMU 担当／松井健太郎 桑原大輝	〔最高軒高〕	6,770mm
〔施工〕		〔天井高さ〕	食事処_平均5,100mm 土産処_平均4,800mm
建築	松井建設東北支店	〔地域地区〕	市街化調整区域 法22条区域
機械	宮春工業	〔道路幅員〕	北6.0m
電気	北上電設工業	〔主体構造〕	木造
造園	岩沼造園土木	〔杭・基礎〕	直接基礎
		〔設計期間〕	2018年1月～2019年9月
		〔施工期間〕	2019年10月～2020年4月
		〔写真〕	阿野太一